

# 2023年度は変化の年に

小国郷公立病院組合 病院事業管理者 片岡恵一郎

昨年度末に小国公立病院にとって大きなニュースが2つありました。

1つ目は地域医療構想に関する合意形成が得られた事、2つ目はデジタル田園都市国家構想に応募した事業が国の事業として採択された事です。これら2つの事は今後の小国郷の医療提供体制に大きな影響を及ぼす事になりますので、年度始めにあたり、住民の皆様概要をお伝えしておこうと思います。

まず、1つ目の地域医療構想に関する事。

2019年の9月に「再編・統合の議論が特に必要な病院」として厚労省が公的病院424病院(後に約440病院に増)のリストを公表しました。

そのリストの中に小国公立病院が含まれていた事は、覚えていらっしゃる方も多いと思います。その発表を受けて、2019年12月より、地域医療構想調整会議が始まり、小国公立病院が地域にとって不可欠な病院であるかどうかについての議論が始まりました。

その後3年半かけて、10回近くの会議を重ね、2023年3月16日の阿蘇地域医療構想調整会議で、小国公立病院の機能を「地域密着型多機能病院」という言葉で再定義し、当院は代替不可能な地域の病院である事に行政や関連団体を含んだ阿蘇圏域全体からの合意を頂く事ができました。



今年度はこの合意を受けて、国や県からの支援による病棟の改修も可能になり、より良い医療提供の為の積極的存続をしていく事になっております。

2つ目。岸田内閣の目玉政策の一つである「デジタル田園都市国家構想」に小国郷公立病院組合で応募した「小国郷医療MaaS・DX推進事業」が採択され交付金をいただける事になりました。全国の病院でこの交付金に事業が採択されたのは当組合のみです。この交付金により、医療のデジタルトランスフォーメーションに関わる拠点整備とオンライン診療車を走らせる事業が動き出し、医師が少ない地域でも「動く診察室」が機動的に動いて行き、オンライン診療ができる体制を作ることができるようになります。未来の話ではなく、今年度中には提供体制が整う予定で、急ピッチで準備を進めています。

私が事業管理者になり、この2年間はコロナの影響で我慢の期間でしたが、今年度からはこの数年で蓄えたエネルギーを使った変化の年になると考えています。今年度も住民の皆様のご支援・ご協力の程よろしくお願いたします。



# ゆたあ〜と

発行  
小国公立病院  
0967-46-3111  
おぐに老人保健施設  
0967-46-6111  
訪問看護ステーション  
0967-46-6050

53号  
令和5年6月

小国公立病院  
HPアドレス  
<http://www.ogunihp.or.jp>  
/bind/



## ～ 医師紹介 ～

所属:総合診療科 専門:呼吸器

はじめまして。この度、小国公立病院に赴任して参りました。

小国は全く初めての土地ではありますが、空気や温泉、美しい景色などその魅力にすでに心躍っております。

皆様に笑顔を届けられるよう、頑張ります。



いのうえ ひろき  
井上 大暉 医師

所属:総合診療科 専門:循環器

令和5年4月より勤務となりました。昨年は上天草総合病院に勤めておりましたが、出産を経て、今回小国公立病院に勤務させて頂きます。

熊本市出身で、栃木県にある自治医科大学を卒業し、熊本に戻って参りました。

私は温泉が大好きなので、小国の立ち寄り湯や旅館に泊まりに来ていました。

小国の方々により良い医療を提供できるよう、精進していきたく思っております。よろしくお願いたします。



おの ゆうみ  
小野 悠美 医師



## 令和5年度の入職者を紹介します

小国郷公立病院  
院長 堀江英親  
事務局長 玉飼博之

小国郷の地域の皆様には、いつも小国公立病院の運営にご協力、ご理解をいただきありがとうございます。新年度を迎えるにあたり、小国公立病院では新しい職員と一緒にスタートすることになりました。医師 2名、看護師 新人2名、中途採用 3名、熊本赤十字病院よりの派遣 1名の合計 8名となります。今年度は、新しい診療のかたちへの取り組みも予定しております。地域の皆様方の更なるご支援を賜りますよう、宜しくお願致します。

# MaaS(Mobility as a Service)について

小国公立病院 事務局長 玉飼博之



八代市のMaaS車両

MaaS(マース)とは、「Mobility as a Service」の略。直訳すると、「サービスとしての移動」という意味になります。

モビリティを単なる交通手段ではなく、自動運転やAIなどのさまざまなテクノロジーを掛け合わせた、次世代の交通サービスとして捉えた言葉です。

国土交通省の掲げる定義では、MaaSとは、地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせることで検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるものです。

小国郷を含む、高齢化率の高い地域では、交通弱者対策(高齢者・地方の公共交通機関)が、近年の問題として挙げられおり、さまざまな対策がとられているが、いまだ解決方法は確立していません。

日常の買い物や医療機関への通院には、自家用車並みの便利な時間を選ばない移動手段が必要です。



デモ(見本)車両の外観

公共交通機関の経営が厳しい地方在住者や、自動車免許を返納した高齢者など、自動車中心の社会において移動を制限されている交通弱者の対策にもMaaSは有効です。

にじバスの運行も随時見直しがされておりますが、例えば、乗合タクシーやバスが手軽に利用できるようなになれば、公共交通機関の乏しい地域でも移動手段を確保できます。

熊本県では先行して、昨年12月28日より令和2年7月に豪雨災害で、被害のあった八代市坂本地区で「デジタル医療MaaS」実証が行われています。「マルチタスク車両」を活用し、看護師などが乗車した移動診療車で公民館などを巡回し、車内のテレビ会議システムで医師や薬剤師と連携することで、オンライン診療やオンライン服薬指導が受けられるものです。

小国公立病院では、サテライト診療拠点を利活用し、八代市での実証を参考に「新たな診療サービスの提供」の準備を行なっています。国、県、町、大学、民間企業等多方面からの協力を得ながら、実現に向かって動きはじめます。是非、ご期待ください。



デモ(見本)車両の内部

## ～ 看護師紹介 ～



かい さちよ  
甲斐 幸代 看護師

所属：病棟  
宮崎県出身です。昨年の10月に入職しました。初めて雪が降る生活を経験し、朝の車の温度計が-7℃になっていた時は嘘かと思いました。看護師になって長いですが、初めての成人病棟であり、右往左往する毎日です。生活に慣れてきたら少しずつ色々な温泉に行ってみたいと思います。



しいば かりん  
椎葉 花梨 看護師

所属：病棟  
小国公立病院で4月から働いています。小国町の魅力を沢山感じながら、地域の方々の一員としてお役に立てるように笑顔で頑張っていきたいと思います。これからも宜しくお願いいたします。

所属：病棟  
この度、看護師として小国公立病院にて働かせて頂きます。大分県出身ですが、自然豊かな小国の地で、これまでの経験を生かしていきたいと考えています。病院に来られた時には、気軽に声を掛けて下さい。よろしくお願いします。



いだ まさふみ  
井田 正史 看護師

所属：病棟  
4月から小国公立病院で働いています。私は、患者様だけでなく、家族にも笑顔で寄り添える看護師を目指します。初めてのことで、わからないこともたくさんありますが、精一杯頑張りますので、宜しくお願いします。



ふじた あやか  
藤田 彩花 看護師



ちょう えりか  
長 絵理香 看護師

所属：外来  
4月より看護師として入職しました。小国郷は自然豊かで、心温かい方が多く、素敵な場所だと思います。前病院での経験を活かし、しっかりと貢献できるよう精一杯頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。



まき ゆきこ  
牧 由紀子 看護師

所属：病棟  
4月から、熊本赤十字病院より1年間の予定で出向してきました。看護師としての経験は数十年。画像センター・集中治療病棟・循環器病棟などで勤務してきました。これまでの経験を生かして、少しでも皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。小国に来てから、数日が経ちましたが、自然豊かでのんびりとした雰囲気には癒されています。旅行に行くことが好きなので、小国でも温泉など、色々な所へ出かけることが楽しみです。1年と短い期間ですが、宜しくお願いします。

## ～ 支援看護師紹介 ～